

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 08217102
 PUBLICATION DATE : 27-08-96

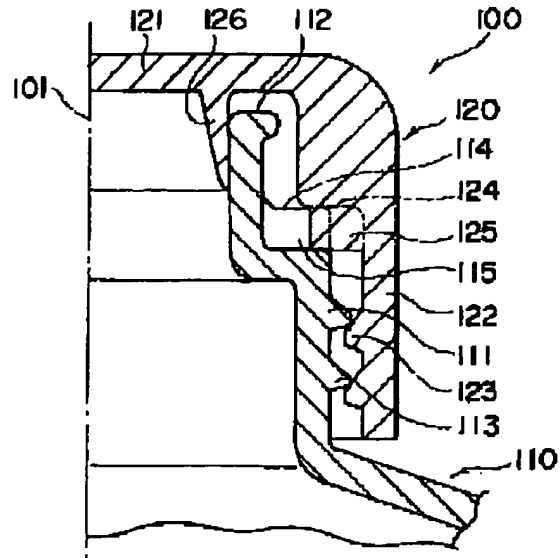
APPLICATION DATE : 20-02-95
 APPLICATION NUMBER : 07030552

APPLICANT : TOPPAN PRINTING CO LTD;

INVENTOR : SAITO TAKASHI;

INT.CL. : B65D 41/04

TITLE : CONTAINER WITH CAP TO BE
 POSITIONED



ABSTRACT : PURPOSE: To enable accurately positioning a cap with respect to a container body in screwing the cap thereon by putting a ring-shaped plane part of the container body against a ring-shaped plane part of the cap and putting a positioning part of the container body in contact with a positioning projection of the cap.

CONSTITUTION: When a cap 120 is set on the neck 111 of a container body 110 by fitting together their mutual screws 123, 113 by the use of a capping device, a ring-shaped plane part 124 provided between a screw 123 on the inner side of the cap 120 and the top side 121 is put against a ring-shaped plane part 114 provided between a screw 113 on the neck 111 and the upper end 112. Simultaneously a rib-shaped vertical positioning projection 125 provided between the ring-shaped plane part 124 and the screw 123 is put in contact with a rib-shaped vertical positioning part 115 provided between the ring-shaped plane part 114 on the outer side of the neck 111 and the screw 113. In this manner the pouring hole of the cap 120 is positioned accurately in alignment with a specific direction with respect to the neck 111.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

BEST AVAILABLE COPY

THIS PAGE BLANK (USPTO)

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-217102

(43)公開日 平成8年(1996)8月27日

(51)Int.Cl.⁶

B 6 5 D 41/04

識別記号

庁内整理番号

F I

B 6 5 D 41/04

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平7-30552

(22)出願日 平成7年(1995)2月20日

(71)出願人 00003193

凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

(72)発明者 川▲さき▼ 敦子

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(72)発明者 林田 徳生

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(72)発明者 斎藤 剛史

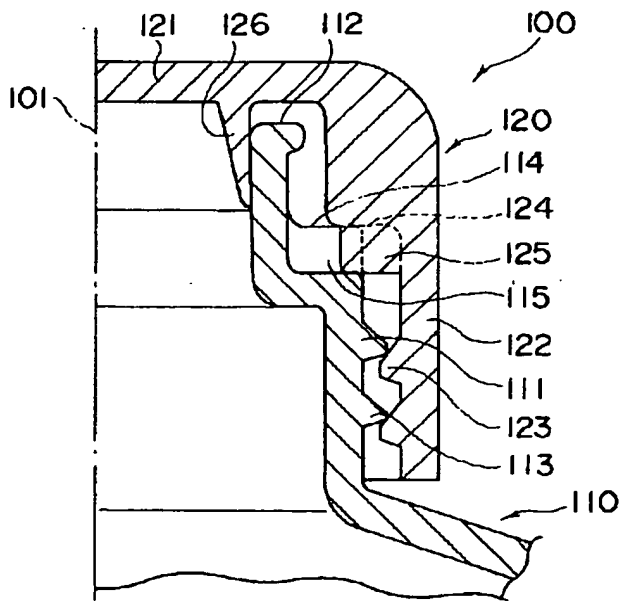
東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(54)【発明の名称】 位置決めキャップ付容器

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 キャップを、容器本体に位置決めして装着する。

【構成】 ネジ部113, 123で螺合する容器本体110とキャップ120からなる容器において、口頸部外面のネジ部113, 123と上端面112の間に、容器の軸101に垂直なリング状平面部114, 124を設け、ネジ部113, 123との間の口頸部外面に、位置決め部115を設け、キャップ120の側壁内面のネジ部113, 123と天板121との間に、軸101に垂直なリング状平面部114, 124を設け、ネジ部113, 123との間の側壁内面に、位置決め突起125を設け、キャップ120を装着するとき、リング状平面部114, 124を銜合し、容器本体110の位置決め部125をキャップの位置決め突起に当接して、キャップ120を位置決めし、容器120本体の口頸部110の上端面とキャップ120の天板内面とが当接しない状態で螺合の進行を停止する。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】相互のネジ部で螺合する容器本体とキャップとからなる容器において、前記容器本体の口頸部外面のネジ部と上端面との間に、容器の中心縦方向の軸に垂直なリング状平面部を設け、且つ前記リング状平面部とネジ部との間の口頸部外面に、位置決め部を設け、前記キャップの側壁内面のネジ部と天板との間に、容器の中心縦方向の軸に垂直なリング状平面部を設け、且つ前記リング状平面部とネジ部との間の側壁内面に、位置決め突起を設け、前記キャップを前記容器本体に相互のネジ部を螺合させて装着するときに、容器本体のリング状平面部をキャップのリング状平面部に衝合し、同時に容器本体の位置決め部をキャップの位置決め突起に当接して、キャップを容器本体に対して位置決めし、且つ容器本体の口頸部の上端面とキャップの天板内面とが当接しない状態で螺合の進行を停止することを特徴とする位置決めキャップ付容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、方向性を有するキャップを装着した位置決めキャップ付容器に関するものであり、詳しくは、キャップの容器本体に対する位置決めが正確な位置決めキャップ付容器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、注出ノズルを有するノズルキャップやキャップ本体に小蓋がヒンジで接合しているヒンジキャップなどの方向性を有するキャップを使用する場合には、容器の仕様や使用目的によって、装着するキャップの注出方向を位置決めする必要がある。このキャップを位置決めする方法としては、従来から多くの発明や考案がなされてきているが、代表的なものとして、例えば実公平6-17725号公報で開示された方法がある。この方法は、相互のネジ部で螺合する容器本体とキャップとからなる容器において、図2に示すように、容器本体(110)の口頸部(111)のネジ部(113)と上端面(112)との間に、容器の中心縦方向の軸(101)に垂直なリング状平面部(114)を設け、キャップ(120)の側壁(122)内面のネジ部(123)と天板(121)との間に、容器の中心縦方向の軸(101)に垂直なリング状平面部(124)を設け、キャップ(120)を容器本体(110)に相互のネジ部(113と123)を螺合させて装着するときに、容器本体(110)のリング状平面部(114)を、キャップ(120)のリング状平面部(124)に衝合して、キャップ(120)を容器本体(110)に対して位置決めし、且つ容器本体(110)の口頸部(111)の上端面(112)とキャップ(120)の天板(121)内面とが当接しない状態で螺合の進行を停止する位置決めキャップ付容器(100)であった。

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、実公平6-17725号公報による方法は、容器本体のリング状平面部とキャップのリング状平面部とを衝合してキャップを位置決めするものであるが、衝合が面と面とによるため、位置決め位置が不正確になることがあった。

【0004】本発明は、上述の従来の問題を解決したものであり、キャップを容器本体に対して正確に位置決め可能な位置決めキャップ付容器を提供するものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、相互のネジ部で螺合する容器本体とキャップとからなる容器において、図1に示すように、前記容器本体(110)の口頸部(111)外面のネジ部(113)と上端面(112)との間に、容器の中心縦方向の軸(101)に垂直なリング状平面部(114)を設け、且つ前記リング状平面部(114)とネジ部(113)との間の口頸部(111)外面に、位置決め部(115)を設け、前記キャップ(120)の側壁(122)内面のネジ部(123)と天板(121)との間に、容器の中心縦方向の軸(101)に垂直なリング状平面部(124)を設け、且つ前記リング状平面部(124)とネジ部(123)との間の側壁(122)内面に、位置決め突起(125)を設け、前記キャップ(120)を前記容器本体(110)に相互のネジ部(113と123)を螺合させて装着するときに、容器本体(110)のリング状平面部(114)をキャップ(120)のリング状平面部(124)に衝合し、同時に容器本体(120)の位置決め部(115)をキャップ(120)の位置決め突起(125)に当接して、キャップ(120)を容器本体(110)に対して位置決めし、且つ容器本体(110)の口頸部(111)の上端面(112)とキャップ(120)の天板(121)内面とが当接しない状態で螺合の進行を停止することを特徴とする位置決めキャップ付容器(100)である。

【0006】上述のキャップは、ポリプロピレン、ポリエチレンなどのポリオレフィンや、ポリエチレンテレフタレートなどのポリエステルや、ポリアセタールなどの熱可塑性樹脂を用い、射出成形法により成形し、キャップの側壁内面に形成するリング状平面部は、容器本体の口頸部に装着し位置決めされたとき、容器本体の口頸部の上端面が、キャップの天板内面に当接しない位置に形成する。

【0007】また、容器本体は、ポリエチレン、ポリプロピレンなどのポリオレフィンや、ポリエチレンテレフタレートなどのポリエステルや、アクリル樹脂などの熱可塑性樹脂を用い、ブロー成形法、2軸延伸ブロー成形法、射出ブロー成形法などにより成形し、容器本体の口頸部に形成するリング状平面部は、キャップが装着され位置決めするとき、キャップの側壁内面に形成されたり

【0008】また、容器本体の口頸部外面に形成する位置決め部とキャップの側壁内面に形成する位置決め突起は、キャップを容器本体に対して位置決めする位置で当接するように、それぞれに対応して容器の中心縦方向の軸に平行に設けるものである。

【0009】

【作用】従来の位置決めキャップ付容器においては、容器の中心縦方向の軸に垂直方向に形成したキャップのリング状平面部と容器本体のリング状平面部とを、つまり面と面とを衝合させて行ったが、本発明の位置決めキャップ付容器においては、さらに、容器の中心縦方向の軸に平行に形成した容器本体の位置決め部とキャップの位置決め突起とを当接させて位置決めするため、位置決めする位置がより正確となる。

【0010】

【実施例】まず、注出口位置に方向性があり、図1に示すように、天板(121)の内面に容器本体(110)の口部に嵌入して容器を封止するインナーリング(126)をもち、側壁(122)内面下方に容器本体(110)と螺合するネジ部(123)をもち、側壁(122)内面のネジ部(123)と天板(121)との間に、容器の中心縦方向の軸(101)に垂直なリング状平面部(124)をもち、側壁(122)内面のリング状平面部(124)とネジ部(123)との間に、容器の中心縦方向の軸(101)に平行な縦リブ状の位置決め突起(125)を設けた本実施例のキャップ(120)を、ポリエチレンにより射出成形法で作製した。次に、口頸部(111)の外面下方にキャップ(120)と螺合するネジ部(113)をもち、口頸部(111)のネジ部(113)と上端面(112)との間に、容器の中心縦方向の軸(101)に垂直なリング状平面部(114)をもち、口頸部(111)外面のリング状平面部とネジ部との間に、容器の中心縦方向の軸(101)に平行な縦リブ状の位置決め部(115)を設けた本実施例の容器本体(110)を、ポリエチレンテレフタレートにより2軸延伸ブロー成形法で作製した。なお、容器本体(110)の位置決め部(115)とキャップ(120)の位置決め突起(125)は、キャップ(120)を容器本体(110)に対して位置決めする位置で当接するように、それぞれに対応して形成し、また、容器本体(110)のリング状平面部(114)は、キャップ(120)が容器本体(110)の口頸部(111)に装着し位置決めされたとき、容器本体(110)の口頸部(111)の上端面(112)がキャップ(120)の天板(121)内面に当接しない位置に

形成した。

【0011】次に、上述のキャップ(120)を、キャッピング装置で、上述の容器本体(120)の口頸部(111)に相互のネジ部(113と123)を螺合させて装着した。キャップ(120)の側壁(122)内面のネジ部(123)と天板(121)との間に設けられたリング状平面部(124)が、容器本体(110)の口頸部(111)のネジ部(113)と上端面(112)との間に設けられたリング状平面部(114)に衝合し、同時に、キャップ(120)の側壁(122)内面のリング状平面部(124)とネジ部(123)との間に設けられた縦リブ状の位置決め突起(125)が、容器本体(110)の口頸部(111)外面のリング状平面部とネジ部との間に設けられた縦リブ状の位置決め部(115)に当接して、キャップ(120)の注出口が容器本体(110)の口頸部(111)の所定方向に正確に位置決めされた。

【0012】

【発明の効果】本発明の位置決めキャップ付容器は、容器の中心縦方向の軸に垂直方向に形成したキャップのリング状平面部と容器本体のリング状平面部と衝合と、容器の中心縦方向の軸に平行に形成した容器本体の位置決め部とキャップの位置決め突起とを当接させて、キャップを容器本体に対して位置決めするため、正確に位置決め可能となる。

【図面の簡単な説明】

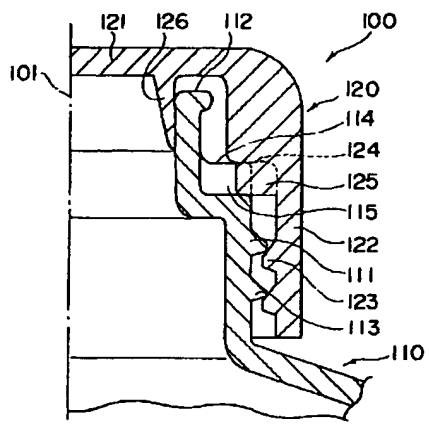
【図1】本発明の一実施例の位置決めキャップ付容器の口頸部付近の部分断面図である。

【図2】従来の一例の位置決めキャップ付容器の口頸部付近の部分断面図である。

【符号の説明】

100……位置決めキャップ付容器
101……軸
110……容器本体
111……口頸部
112……上端面
113, 123……ネジ部
114, 124……リング状平面部
115……位置決め部
120……キャップ
121……天板
122……側壁
125……位置決め突起
126……インナーリング

【図1】



【図2】

